

（２）令和７年９月１２日から１３日にかけての大雨における 防災・減災、国土強靱化対策 効果事例

1. 令和７年９月１２日から１３日にかけての大雨の状況
2. 氾濫危険水位（警戒レベル４）超過河川の状況
3. 整備効果事例



**令和７年１２月
三重県 県土整備部**

1. 令和7年9月12日から13日にかけての大雨の状況

三重県北部では、令和7年9月12日から13日にかけて大雨となり、四日市市・菰野町付近では1時間に約120mmの猛烈な雨を観測し、記録的短時間大雨情報が発表された。

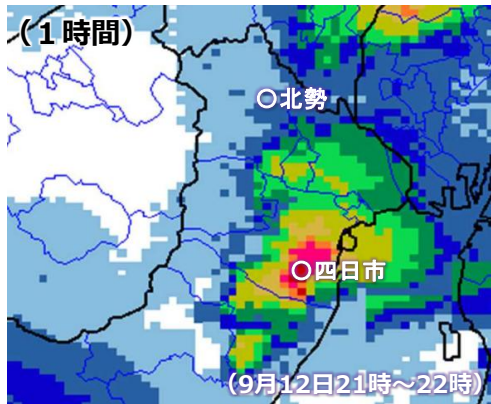
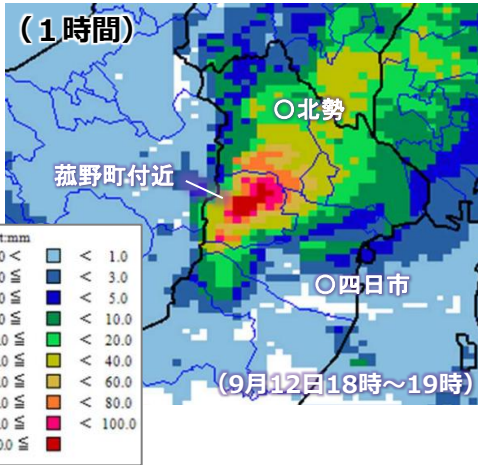
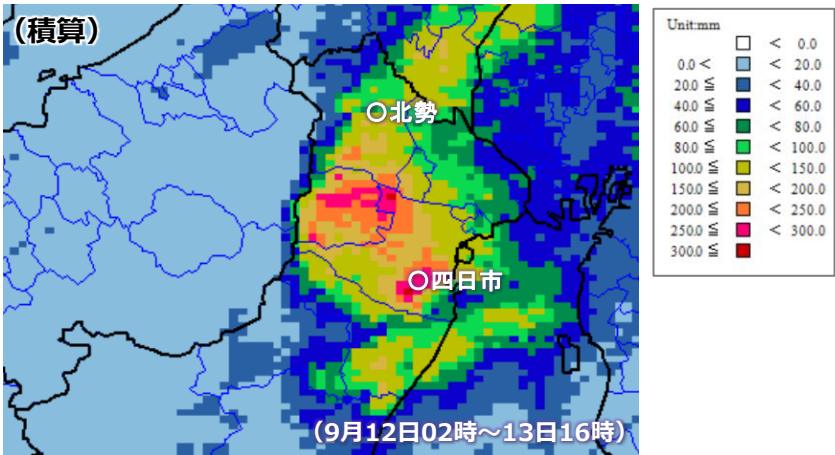
大雨の影響により、住宅等の浸水被害や、公共交通機関等にも影響があった。

○県内雨量状況

※9月12日02時～13日16時の合計値

観測所	時間最大 (mm)	降水量※ (mm)	備考
北勢 (いなべ市)	38.0	145.0	四日市観測所で 1～12時間降水量が 観測史上1位を更新
四日市 (四日市市)	123.5	264.0	

○解析雨量



出典：津地方気象台

○道路の状況 (県管理道路)

6区間で通行止めを実施
(災害1区間、雨量規制5区間)



四日市市街地の冠水の状況



四日市市内の災害状況

○施設の被災状況

県市町合計で14件の災害復旧事業を報告 (12月5日時点)

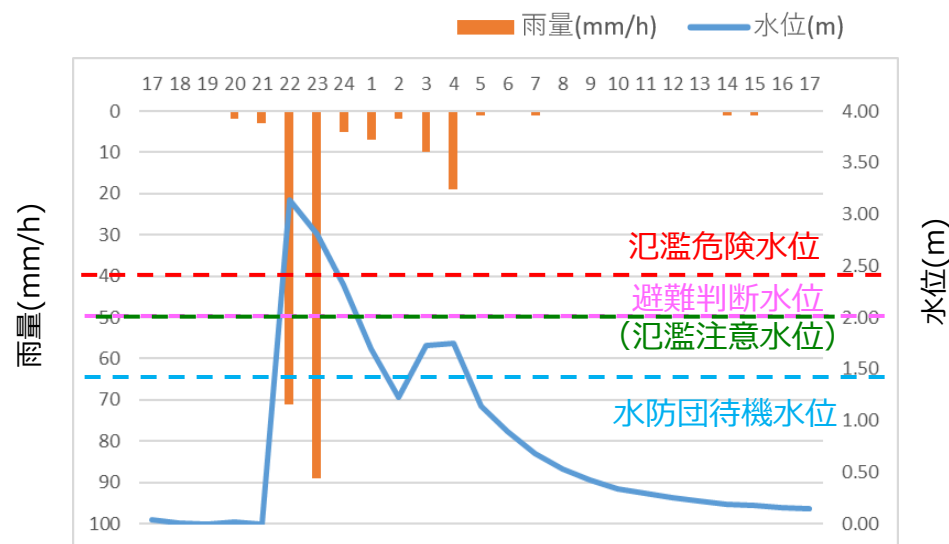
	河川	砂防設備	道路	橋梁	合計
県	11	0	2	0	13
市町	0	0	1	0	1
合計	11	0	3	0	14

2. 氾濫危険水位(警戒レベル4)超過河川の状況

県が管理する4河川で氾濫危険水位(警戒レベル4)を超過

【二級河川 鹿化川(四日市市 日永観測所)】

時間雨量92mm、24時間雨量176mm

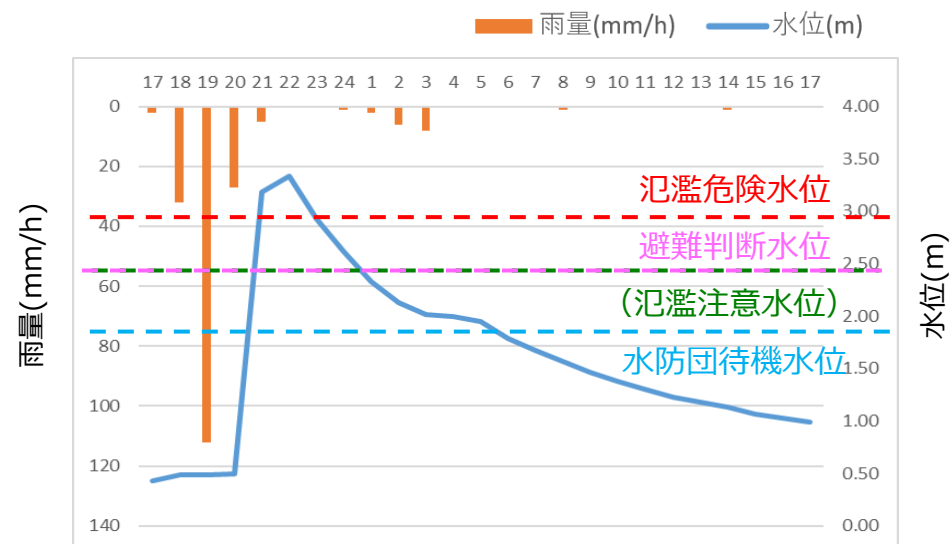


鹿化川(鹿化橋上流側) 9月12日22時00分



【二級河川 朝明川(菰野町 朝明観測所)】

時間雨量115mm、24時間雨量211mm

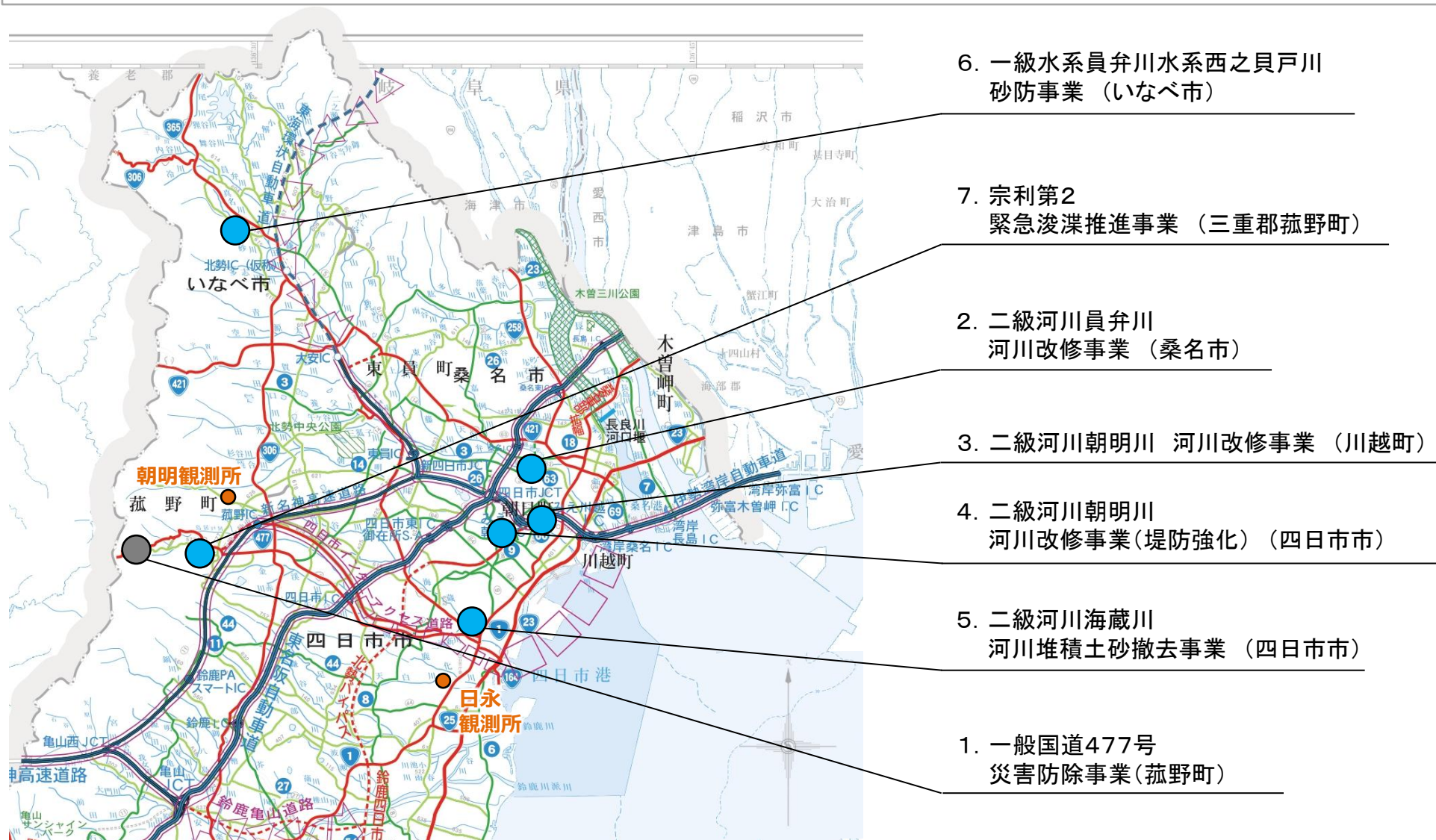


朝明川(福崎橋) 9月12日21時40分



3. 整備効果事例 位置図

「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」等で整備し、令和7年9月12日から13日にかけての大雨により記録的な大雨を受けたが、整備効果を発揮したインフラ施設について、代表的な事例を紹介。



◇一般国道477号災害防除事業（菰野町）

5か年加速化対策

対策前



対策後



Before :

既存の落石防護網は劣化が進み、法面も風化が激しく、豪雨時に法面が崩壊し、道路の通行が困難になるリスクがあった

After :

吹付法枠工の対策を実施したことで、**豪雨による法面の崩落を防止**し、通行止めリスクが軽減された

◇二級河川員弁川 河川改修事業（桑名市）

5か年加速化対策

対策中



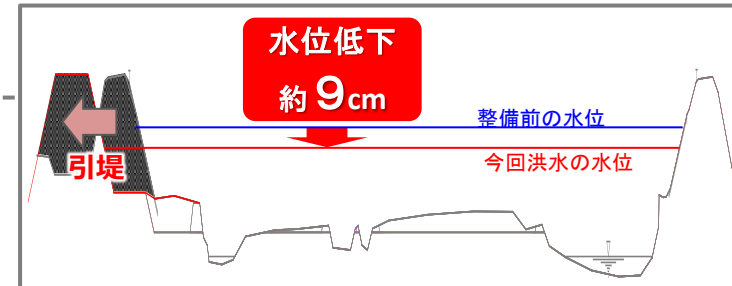
対策後



Before :

流下能力の低い区間があり、大雨等による水位上昇で、堤防を越水し洪水が発生するリスクがあった

After :



河川改修で川幅を拡げたことにより、**水位低下が図られ**、浸水被害発生リスクが軽減された

◇二級河川朝明川 河川改修事業（川越町）

3か年緊急対策

5か年加速化対策

対策中



Before :

流下能力の低い区間があり、大雨等による水位上昇で、堤防を越水し洪水が発生するリスクがあった

対策後



After :

河川改修で護岸を整備したことにより、**堤防高が確保**され、浸水被害発生リスクが軽減された

今回、近傍の水位観測所において氾濫危険水位（警戒レベル4）を超過したが、越水による浸水被害は発生しなかった

護岸

今回(R7.9)水位

みなみふくさき
南福崎 観測所

◇二級河川朝明川 河川改修事業(堤防強化) (四日市市)

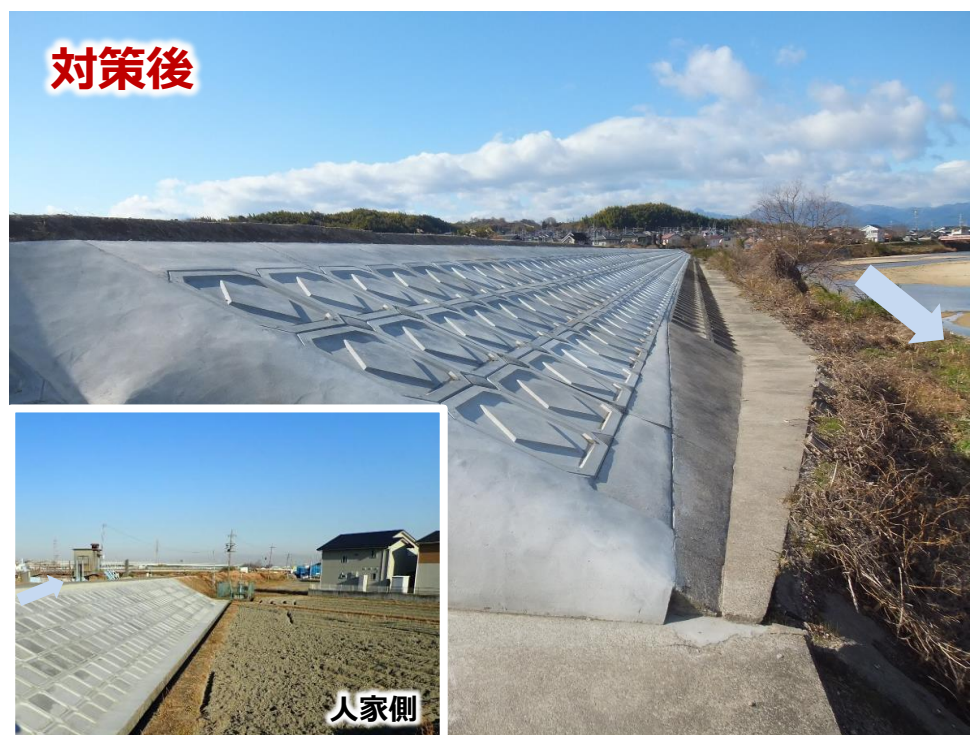
県単事業

対策前

**Before :**

想定を超える大雨により、河川の水が堤防を越えると、堤防の裏側（人家側）等が削られて堤防が決壊するリスクがあった

対策後

**After :**

堤防をコンクリートで覆うことにより、**越水しても壊れにくい「粘り強い堤防」**に強化された

今回、近傍の水位観測所において氾濫危険水位（警戒レベル4）を超過したが、破堤しなかった

◇二級河川海蔵川 河川堆積土砂撤去事業（四日市市）

緊急浚渫推進事業債

対策前



Before :

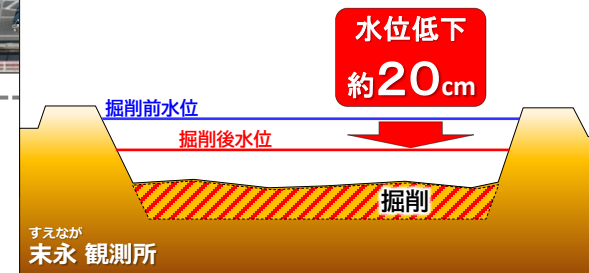
河川内に土砂が堆積し、豪雨時に河川の水がスムーズに流れず、洪水が発生するリスクがあった

対策後



After :

堆積土砂や樹木を撤去したことにより、**水位低下が図られ**、洪水発生リスクが軽減された

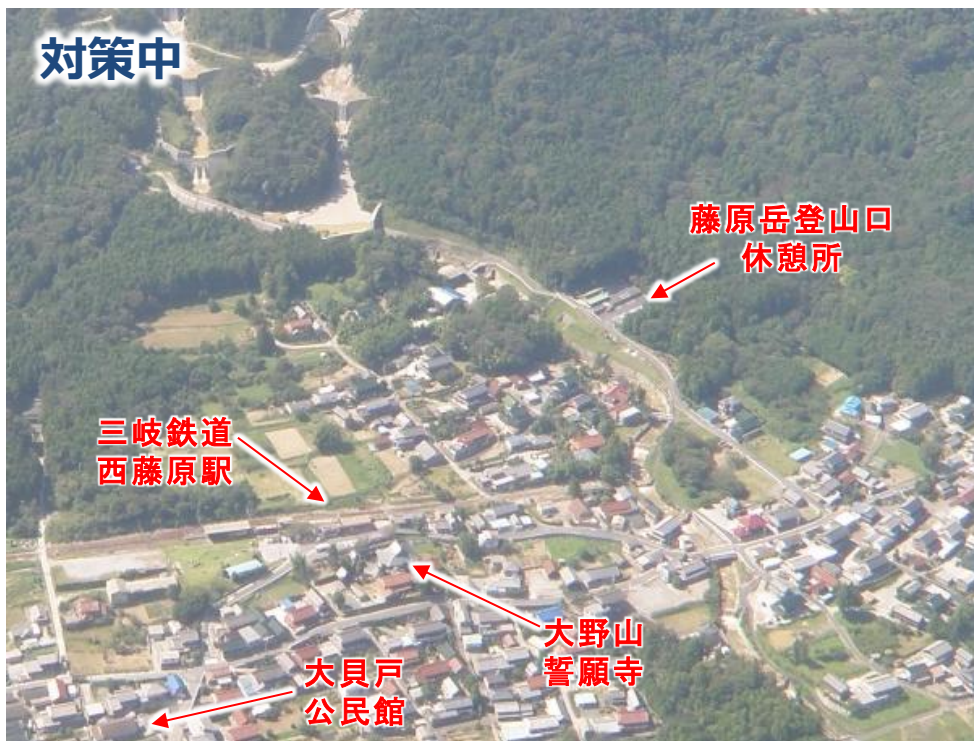


◇一級水系員弁川水系西之貝戸川 砂防事業（いなべ市）

3か年緊急対策

5か年加速化対策

対策中



対策後



Before :

豪雨時に土石流が発生した場合、下流の人家109戸、公民館、駅、県道等に土砂が到達し被災するリスクがあった

After :

砂防えん堤を整備したことにより、土石流が発生した場合、**岩や流木などを含む約89,000m³（ダンプトラック約17,800台分）の土砂を捕捉することが可能**となり、土砂災害が発生するリスクが軽減された

流域 7. 砂防えん堤堆積土砂の撤去により土砂災害発生リスクを軽減

◇宗利第2 緊急浚渫推進事業（三重郡菰野町）

緊急浚渫推進事業債

対策前



対策後



Before :

砂防えん堤の堆砂敷が堆積土砂で満砂になっていると、さらに発生した土砂等を貯めきれず、土砂が流出する危険性があった

After :

堆積土砂を撤去したことにより、土石流が発生した場合、**岩や流木などを含む約3,600m³（ダンプトラック約700台分）の土砂を捕捉することが可能**となり、土砂災害が発生するリスクが軽減された